

【方針1】 「貢献」と「自立」の経済構造への転換

## 2 農山村産業クラスター形成プロジェクト

～観光と農林業を基礎とした農山村産業クラスターの形成～



山岳や高原、美しい景観、伝統・文化などの長野県の強みを活かし、世界水準の山岳高原観光地の形成や日常の暮らしを楽しむことができる観光地域づくり、6次産業化など付加価値の高い農林業の創出により、農山村に県民の暮らしを支える産業の集積をめざします。

### アクション1 世界水準の山岳高原観光地づくり

日本一の山岳環境や美しく豊かな農村景観を活かし、世界水準の山岳高原観光地づくりを進めます。

### アクション2 県民参加型観光地域づくり

来訪者が長野県の日常の暮らしを楽しむことができるよう、県民参加による観光地域づくりを進めます。

### アクション3 農林業の高付加価値化

農山村の暮らしを支える農林業の基盤を強化するとともに、6次産業化の推進やエネルギー施策などとの複合的な施策推進により、農林業の高付加価値化を進めます。



# (1) 世界水準の山岳高原観光地づくり

～日本一の山岳環境の活用～

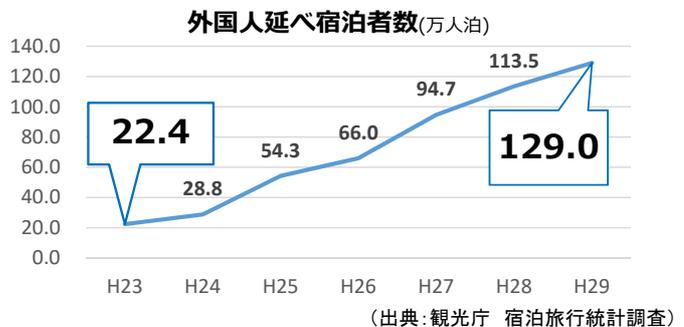


## 【取組のポイント】

- 外国人観光客が旅行しやすい観光地づくり
- 観光地域経営を担う舵取り役である県DMOの活動強化
- 安全で楽しい登山や自然に親しむ機会の提供

## 現状と課題

県内への外国人旅行者が増加  
観光地域づくりの推進体制強化  
長野県の山岳遭難者数は増加傾向



## 主な取組

- 長野県登山安全条例を制定(H27.12)  
全国初の総合的な登山安全条例
- 信州山のグレーディングを作成  
全国初の山の格付け (H26.6)
- 全国に先駆けて  
本格的に登山道を整備
- 海外誘客プロモーション、  
外国人旅行者受入環境整備を推進
- 観光地経営のかじ取りを担う  
県DMOを構築  
県観光機構が観光庁から  
地域連携DMOとして登録される(H29.11)  
※Destination Management/Marketing Organization

## 成果

- 山のグレーディングが  
全国のスタンダードへ  
長野県の作成した基準によるグレーディングを  
近隣県で採用  
H27 4県 → H29 6県 (新潟、山梨、静岡、岐阜、群馬、栃木)
- 登山道の要整備箇所を計画的に整備  
143か所 (H27～29)
- 外国人延べ宿泊者数が  
6年間で約6倍増  
H23:22.4万人  
→ H29:129.0万人 過去最多を記録!  
(出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」)



スノーモンキー  
(写真提供:山ノ内町)

## (2) 県民参加型観光地域づくり

～住んでよし、訪れてよしの長野県～



### 【取組のポイント】

- 県民参加のおもてなし日本一への取組
- 観光地域づくりを牽引していく中核人材の育成

### 現状と課題

「おもてなし」意識を浸透させるために長期的取組が必要

国内外から選ばれる国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりが必要

おもてなし満足度の割合(%)  
(体験者における大変満足度の割合)



(出典: 観光地点パラメーター調査)

### 主な取組

- 県民参加の「ずく出し! 知恵出し! おもてなし宣言」を推進(H25.11～)
- 信州おもてなしマイスターの養成  
長野県のおもてなし向上を牽引するリーダー  
(H26.4～)
- 信州・観光地域づくり  
マネジメント塾の開催(H24.4～H30.3)
- 信州DCおもてなし隊の登録  
(H28.5～)  
信州DC H29.7～9月  
アフターDC H30.7～9月  
※DC: デイステイネーションキャンペーン

### 成果

- おもてなし宣言  
県民が自ら取り組む「おもてなし」を宣言、実行  
H30.3 **3,639**件
- おもてなしマイスター  
H30.3 **120**人  

- マネジメント塾生が各地で活躍  
第1期～第3期(各2年間) 延べ73人受講  
・阿智村星空ナイトツアーの中心的役割を担う  
・諏訪地域でユニバーサルツーリズムを推進
- 信州DCおもてなし隊  
信州DC期間中、県内各地の駅や沿線などで観光客を歓迎する「手を振ろう! 運動」などを推進  
H30.3 **96,609**人

## (3) 農林業の高付加価値化

～農山村の暮らしを支える農林業の基盤を強化～



### <取組のポイント>

- 信州の豊かな風土が生み出す農畜水産物の生産拡大
- コスト削減、付加価値の高い農産物生産などにより「稼ぐ力」の強化
- 日本の代表的なワイン産地としての地位の確立
- 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり

### 現状と課題

農業農村総生産額は近年増加

全国シェア1～2位の品目多数  
りんご、ぶどう、プルーン、レタス、  
セルリー、はくさい、えのきたけ など

ワイン用ぶどう生産量 **全国1位**  
(出典：農林水産省 H27特産果樹生産動態等調査)



### 主な取組

- 果樹等の県オリジナル品種の開発と  
新品種等への転換
  - ・ りんごの「シナノリップ」やぶどうの「ナガノパープル」・「シャインマスカット」などへの改種の推進
  - ・ りんご高密度栽培・新しい化栽培等高収量・省力栽培の導入推進
- 県産農産物の輸出促進  
県外バイヤー産地見学会、  
輸出促進セミナーの開催
- ワイン用ぶどうの  
生産振興
- 信州F・POWERプロジェクトの推進  
木質バイオマス発電施設の整備等による木材利用の促進



### 成果

- 赤系ぶどうの“種なし皮ごと”品種  
「ブドウ長果11」など6品種を育成 (H29)
- 果樹の県オリジナル品種等  
の生産を拡大  
(H25：1606ha → H29：1964ha)
- 県産農産物の輸出額を増大  
**1億2千万円(H25)→10億4千万円(H29)8.7倍**
- NAGANO WINEのブランド化  
ワイン生産アカデミーにより、5年間で175人の栽培技術の  
習得を支援  
ワイナリーの数が大幅に増加 (H25：25 → H29：36)  
ワイン用ぶどうの生産が増加 (H25：5073t → H27：6363t)



## 2 農山村産業クラスター形成プロジェクト

### 達成目標の進捗状況

(総括マネージャー 観光部長)

進捗区分 ●「A」：目標値以上 ●「B」：80%以上100%未満の進捗  
 ●「C」：80%未満 ●「実績値なし」：H29年度実績値が把握できない  
 進捗割合=(実績値-基準値)/(目標値-基準値) ・「目安値」：H25～28年の目標値

観光消費額	年度	単位	基準値	H25	H26	H27	H28	目標(H29)
	目標値(目安値)	億円		3,140	3,179	3,219	3,259	3,300
	実績値		3,063	3,148	2,974	3,302	3,093	3,051
	進捗区分			A	C	A	C	C
(進捗状況の分析) 平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」の放送や諏訪大社御柱祭開催等の反動減で利用者数が大幅に減少した観光地があったこと、10月に県内各地で天候不順の影響を受けたこと等から、目標には達していません。			(今後の取組) ●平成30年3月に、今後5か年間を見据えた「信州の観光新時代を拓く 長野県観光戦略2018」を策定。戦略に基づき、①広域型DMOの形成支援や観光人材の育成・確保、②ハード・ソフト両面からの観光の基盤づくり、③戦略的なインバウンド施策を進め、「稼ぐ」観光地域づくりを進める。					
農業農村総生産額 ※農業農村総生産額＝ 農産物産出額＋農業関連産出額	年度	単位	基準値(H22)	H25	H26	H27	H28	目標(H29)
	目標値(目安値)	億円		2,968	2,996	3,015	3,033	3,050
	実績値		2,908	3,031	3,019	3,118	3,117	3,083
	進捗区分			A	A	A	A	A
【関連データ】								
指標名			H25	H26	H27	H28		
農産物産出額(栽培きのご類含む。)			2,832	2,818	2,916	2,901		
農業関連産出額			199	201	202	216		
(進捗状況の分析) 平成29年度の農業農村総生産額は米価の上昇や果樹のオリジナル品種等への転換等により生産額が向上したことに加え、農産加工品などの生産額が増加したことにより、目標値を達成しました。			(今後の取組) ●引き続き、企業の経営体の育成や新規就農者の確保を図るとともに、県オリジナル品種等の戦略的拡大や革新的農業技術の開発などに加え、農産物のブランド力強化や6次産業化の推進により、農業者の一層の所得向上を図る。					

## 2 農山村産業クラスター形成プロジェクト

外国人宿泊者数	年度	単位	基準値	H25	H26	H27	H28	目標(H29)
	目標値(目安値)	万人		32.8	37.1	41.4	45.7	50.0
	実績値		20.3	36.1	46.5	70.8	86.3	-
	進捗区分			A	A	A	A	実績値なし
【関連データ】								
指標名			H25	H26	H27	H28	H29	
延べ宿泊者数(外国人) 【出典：宿泊旅行統計調査(観光庁)】			54	66	95	113	129	
(進捗状況の分析) 平成28年度で目標値(年間50万人)を越える宿泊者となっており、平成29年の「宿泊旅行統計調査」(観光庁)によると、宿泊者数は対平成28年比で大幅に伸びていることから、目標を達成したものと見込まれます。(この指標のもととなる統計については11月頃公表予定)			(今後の取組) ●これまでのターゲット(東アジアや東南アジア)に加え、欧米市場や新興市場(フィリピン、ベトナム)でのプロモーション活動を進め、現地の主要旅行会社等との連携を強化しながら、引き続き、外国人旅行者の誘客拡大を図る。					

素材生産量	年度	単位	基準値	H25	H26	H27	H28	目標(H29)
	目標値(目安値)	千㎡		330	420	600	605	610
	実績値		329	437	437	501	498	541
	進捗区分			A	A	C	C	C
(進捗状況の分析) 信州F・POWERプロジェクトの木質バイオマス発電所の稼働が5年遅れている(2015年→2020年予定)ことなどにより、目標には達していませんが、当該事業以外の燃料用木材及び合板用材の供給は堅調に推移しました。			(今後の取組) ●梁等の横架材市場への信州カラマツ製品の供給を増加させ、収益確保による建築用材の素材生産量の増加を目指す。					